授業科目	文学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	戸田　由美						
授業概要	まず、あなた方が、日頃、気が付かなかった面白い話をします。しかし、それは見方を変えると、思いがけないほどの重要な意味があったりするのです。そういったことを前提にして、文学的考察に入ります。 この学びは、文学作品はもとより、生きている現象のすべてを対象とし、それを分析し、自分の考えを自分自身の言葉で表現できるように、世界に向けて発信するべく習得する、大切な授業です。 したがって、「文学とは何か」…「文学とは、あなた方にとってたいせつな実学」であることをまなびます。 そのために、あらゆる視点から、テーマをさだめて、幾多もの方法で考察します。 目からウロコの大きな発見があることでしょう。						
授業形態	講義			授業方法	講義		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1、多角的に視野が拡がり、柔軟な発想ができる。 2、読解力が向上し、文学の基礎的知識を習得できる。 3、文学の背景にある日本文化および西欧文化の理解を深めることができる。 こころとことばの深い関係性について習得し、正しい日本語を用いて美しく表現できる能力を併せもっていること。
理想的レベル	習得した文学的センスを生かし、豊かな表現力と柔軟な発想でもって、様々な事柄を相手に魅力的に伝える能力を兼ね備えていること。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	20%	
その他	30%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU10403J WE10403J NT10403J EN10403J TO10403J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
復習すること	4

授業計画	
第 1 回	いま、なぜ文学なのか、 あなたは「文学」どのようにとらえているのか？ その意義とは？
第 2 回	「文学的エステの世界」 エステサロンではありません。 日本文化をあらわすキーワードはなにか？
第 3 回	『からだことば』って何か、知っていますか？ そのおもしろさを解説します。
第 4 回	こころとことば（1） 日本で一番古い愛の表現とは？
第 5 回	こころとことば（2） 太陽の色は何色？ 国際的視点で考えるとどうなるのか？
第 6 回	こころとことば　（3） アメリカの図書館にねむる文献の紹介 明治期の隠された、真実…戦争文学について
第 7 回	嘘つきのパラドックス ４千年解けなかった事実と表現にせまる
第 8 回	源氏物語、光源氏の愛し方、愛され方について 1200 年前の、日本が世界に誇るべき源氏物語の愛情表現、および人間関係等々の文学的おもしろさについてふれてみる。
第 9 回	ベストセラー小説の意義について なぜ、ベストセラ―になるのかその理由を、社会学的見地から追求する。
第 10 回	外国映画を鑑賞する 家族の肖像を物語る作品をみる
第 11 回	障がいをテーマにした文学について 障碍を、文学作品にどのよに表現されているのか探求する。
第 12 回	文学と性教育について、その関係性とは？ 日本文学に表現されている愛情表現の数々についての歴史的変化を鑑みる。
第 13 回	伝記、歴史文学について
第 14 回	昔話と日本人のこころ 昔話を例にしてその意義を説く。
第 15 回	今までの講義内容を振り返り重要点をおさえる
テキスト	使用しない。
参考図書・教材／データ	講義中、必要に応じてプリントを配布する。

ベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	レポート（５０点）
学生へのメッセージ・コメント	活字に親しむことが最も大切ですが、新聞は欠かさず読むこと。 従来の国語学習とは異なる日本文化、あるいは日本語への新しいアプローチとなりますから、講義中理解できなかったところは、必ず質問してください。 最後に提出していただくレポート及び、出席状況など総合点によって成績を付けます。講義への積極的な受講態度を評価します。